

## 例 言

- 1 本書は奈良市三条大路2丁目542-1、543-3、546-2における発掘調査報告書である。
- 2 調査は、奈良県教育委員会の依頼により、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部（部長町田 章）が実施した。調査期間は1994年4月4日から5月23日で、調査面積は620㎡である。
- 3 調査には、小林謙一、玉田芳英、小沢毅、浅川滋男、渡辺晃宏が参加し、岩崎大介、福田美穂の協力を得た。調査にあたっては、株式会社トーヨー、および奈良県教育委員会事務局の協力を得た。
- 4 本調査地に関連して、当研究所が第46次調査（調査期間：1968年12月13日～1969年4月3日、調査面積：2,290㎡）を実施しており、本書には、その成果の一部も含めた。
- 5 本書の作成は、当調査部部长町田章の指導のもとに調査員全員があたり、全体の討議を経て以下のように分担して執筆した。  
I-1、II-1、III-3A・B、IV-2B、V-3：小林、I-2：渡辺、II-2、V-2：浅川、III-1、V-1：小沢、III-2、IV-1・2A：玉田、III-3C：村上 隆、IV-3：中野益男（帯広畜産大学）、長田正宏、中野寛子、菅原利佳
- 6 胞衣壺の化学分析は、株式会社ズコーシャに依頼し、成果を得た。
- 7 遺構・遺物の写真は、当調査部佃幹雄、牛嶋茂が担当し、杉本和樹、森本佐由理の協力があった。また、空中写真（Fig. 1右）は、奈良市より提供を受けた。
- 8 本書の編集は小林が担当した。